

2024年7月訓練

主題:キリストを経験し、享受し、表現する(1)

トク	M1	キリストは大いなる光、権威を持つ方、 医者、花婿、縮ませていない布切れ、新しいぶどう酒 である	ヨハネ	M6	神の言としてのキリスト
	M2	キリストは その行為が天的に支配されている方 、わたしたちの 牧者 、わたしたちの 安息、種まく者 である		M7	命のパン
	M3	すべての諸国民を父と子と聖霊の名の中へとバプテスマすることによって、彼らを弟子とする		M8	キリストは仮庵の祭りであり、また信者たちから生ける水の川々として流れ出る
コリス	M4	王国は、反逆を征服することであり、また主イエスの 変貌(かたちが変わること) である	M9	復活と一粒の麦としてのキリスト	
クリ	M5	キリストを新約のヨベルの 実際 として享受する	M10	ヨハネによる福音書に啓示されている 栄光と栄光を現すこと	
			海	M11	御父の家の中で——キリストの死と復活を通して、わたしたちのために用意された場所の中で生きる
				M12	神聖な三一、イエスの霊、神の王国

標語

キリストは医者として来て務めをし、わたしたちをいやし、回復し、生かし、救って、わたしたちが再構成されて彼の新しい天的市民となるようにしました。彼はわたしたちをもって、この腐敗した地に彼の天的王国を堅く立てることができます。

わたしたちが知り、経験し、証しする必要があるのは、神の王国は反逆を征服する力であり、神の王国は主イエスの変貌(かたちが変わること)であるということです。

神の言としてのキリストは、神の建造のためにはしごとになって、天(神)を地(人)にもたらし、地(人)を天(神)に結び付けて一とならせることを通して、神のために語ります。

神聖な三一が新約全体の枠組みであるように、神聖な三一は使徒行伝の構造です。使徒行伝の一章また一章が、神の新約エコノミーを遂行するための、神聖な三一の活動を明らかにしています。

「リー兄弟は、1984年冬、新約聖書全体のライフスタディの訓練を終えた後、1985年夏から、1986年夏までの三回の訓練にて、神、キリスト、その霊、信者、召会、王国、新エルサレムなどの神の新約エコノミーの項目を詳細に明らかにし、「新約の結論」のメッセージ1から264に編集しました。1986年冬、もう一度訓練を持ち、経験、享受、表現の観点から、新約全体を調べました。内容は豊かで、「新約の結論」のメッセージ265から436に編集されました。(新約の結論 序言)

MSG1 キリストは大いなる光、権威を持つ方、 医者、花婿、縮ませていない布切れ、新しいぶどう酒である			
方 大いなる光、権威を持つ	I. キリストは暗やみの中、死の領域の中にいる者たちに大いなる輝く光です	A	キリストは、夜明けの太陽(朝の光)として臨み、経験、享受します
		B	それは義の太陽が昇り、
		C	夜明け雌鹿(召会を生み出す復活)
		D	主を愛する者は昇る太陽のようになります
		E	義人の路は輝きを増して真昼となる
		F	義人は太陽のように輝く
	II. キリストは権威を持つ方です	A	主は権威の下にある人です
		B	百人隊長は主イエスの権威を認めていました
		C	主イエスは権威を持つ方として人を教えました
医者、花嫁	III. キリストは医者として務めをしました	A	あわれみと恵にしたがって
		B	主は裁判官として訪れたのではない
		C	再構成され新しい天的市民とされる
		D	主が来たのは罪人を招くため
		E	霊的な病をいやします(魂と霊の中でいやす)
		F	いやす力を経験する(十字架、十字架の生活)
	IV. キリストは花婿です	A	主は人を喜ばす人です(花婿の付き添い⇒花嫁とされる)
		B	そのためには、主の臨在の中で生きる必要があります
		C	わたしたちを美しくされ、花嫁とされます。
新しいぶどう酒	V. キリストは縮ませていない布切れ、また新しい衣服です	A	「縮ませていない」の意味
		B	縮ませていない布切れの表徴
		C	死と復活を通して新しい衣となる
		D	人がキリストを模倣しようとする事
		E	天然の命によって振る舞う
		F	新しい衣としてのキリストを受け取る
	VI. キリストはわたしたちの新しいぶどう酒であり新鮮な皮袋に入れられる必要があります	A	時間において新しいこと(新しいぶどう酒)
		B	性質において新しいこと(新鮮な皮袋)

メッセージ 1

キリストは大いなる光、権威を持つ方、
医者、花婿、縮ませていない布切れ、新しいぶどう酒である

聖書：マタイ 4:16. 8:5-13. 9:9-17

キリストは暗やみの中、死の領域の中にいる者たちに大いなる輝く光です

I. **キリストは大いなる光**であって、**暗やみの中に座っている者たちに輝き、死の領域と死の影の中に座っている者たちに昇ります**——マタイ 4:16. ヨハネ 1:4-5. 12:36. エペソ 5:8. コロサイ 1:12-13. IIコリント 4:6-7. 使徒 26:18 :

***昇る太陽(朝の太陽)**としてのキリストを経験し、享受する (rising Sun)

A. 「わたしたちの神のあわれみ深い慈しみのゆえに、**昇る太陽が高い所からわたしたちを訪れ、暗やみの中に、また死の影の中に座っている者に輝き、わたしたちの足を平安の道へと導きます**」——ルカ 1:78-79. 6:36. 哀 3:22-23.

***義の太陽(昼間の太陽)**としてのキリスト (the Sun of righteousness arise...)

B. 「わたしの名を畏れるあなたがたには、**義の太陽が昇り、彼の翼にはいやしがある**。あなたがたは出て行って、よく肥えた子牛のように跳び回る」——マラキ 4:2. 詩 84:11. 86:11.

***キリストは夜明け(dawn)の雌鹿(復活したキリスト)です。**

詩編 22 の主題は、贖う死を経過し、召会を生み出す復活の中に入ったキリストです

C. 詩篇第 22 篇は「夜明けの雌鹿に合わせて」です——タイトル。

キリスト

***主を愛する者は昇る太陽のようになります**

D. 「彼を愛する者たちは、力強く昇る太陽のようになりますように」——士 5:31 後半. イザヤ 60:1, 5 前半。

***義人の路は夜明けの光であり、輝きを増していく(わたしたちはその行程の途上にいる。毎朝復興され、勝利者となり、千年王国で輝くようになる⇒E)**

E. 「義人の路は夜明けの光のようだ. いよいよ輝きを増して真昼となる」——箴 4:18. ペリピ 2:15-16 前半。

***義人は太陽のように輝く**

F. 「その時、義人は彼らの父の王国で太陽のように輝く」——マタイ 13:43 前半。

主は権威を持つ方です

II. **百人隊長は、主が権威を持つ方であることを見ました。なぜなら、主は権威の下にある人であったからです**——マタイ 8:5-13 :

***主は権威の下にある人です。**

A. 百人隊長は、「わたしも権威の下にある者です」と言ったとき、主が権威の下にある人であることを認識しました。百人隊長は権威の下にある人であったので、彼の下にいる者たちに命令する権威を持っていました——9 節前半 :

1. 主イエスは地上での人性における神・人として、絶対的に御父の神聖な命の支配の下にいました——ヨハネ 5:19. 4:34. 17:4. 14:10, 24. 5:30. 7:18。
2. 彼は人として、ご自身の天然の人性を拒絶し、天の御父の神聖な命の制限の下で、人の生活をしました。
3. 彼は実際に御父の神聖な命の支配の下にいることによって、命の中で王として支配していました——ペリピ 2:8-11。
4. 彼は御父の権威の下にある人であったので、御父の権威を持っていました。
5. わたしたちは畏るべき水晶のような澄み渡った空 (正しい純粋な良心) を持ち、わたしたちと主との間に何も無いとき、主の支配する臨在の天的な状態、雰囲気、状況で満たされ、恵みがわたしたちの中で王として支配することによって、命の中で王として支配します——エゼキエル 1:22, 26. 啓 22:1. ローマ 5:17, 21. ヘブル 4:16. 参照、コロサイ 1:13。

***百人隊長は主イエスの権威を承認しました。**

——主の権威は言葉と信仰を通して行使されます

B. 百人隊長は主イエスの権威を承認しました——マタイ 8:9 :

1. 主に関して、彼の権威はおもに彼の言葉の中で行使されます——8 節。
2. わたしたちに関して、主の権威は、彼によってわたしたちの中へと注入し込まれた信仰を通して行使されます——10, 13 節. ヘブル 12:2。

***主イエスは権威を持つ方として人を教えました**

C. 主イエスは地上にいたとき、権威を持つ方としてわたしたちに教えました——マタイ 7:28-29. マルコ 1:22 :

1. 自己任命の聖書学者は、自分でむなしい知識を教え、何の権威も何の力もありませんでした——参照、II コリント 3:6, 8。
2. 主イエスは、神の権威づけられた教師として、神によって実際に教え、霊的な力を持って人々を征服しただけでなく、神聖な権威を持って、彼らを神聖な支配に対して服従させました——イザヤ 30:20-21. マタイ 23:8, 10。

キリストは医者として務めをしました

III. **天的王国の王としての主イエスは、王国のために彼に従う人を召したとき、医者として務めをしました**——マタイ 9:9-13 :

***医者のいやしはあわれみと恵みにしたがっています。**

A. 裁判官の裁きは義にしていますが、医者のいやしはあわれみと恵みにしたがっています。

***主は裁判官として訪れたのではなく、**

B. もし主がわたしたち、あわれな人に裁判官として訪れたなら、わたしたちはみな罪定めされ、拒絶されてしまい、わたしたちのだれも資格づけられず、選ばれず、召されて彼の天的王国の民となることはなかったでしょう——8:2-16, 28-32. 9:2-11. 詩 103:1-4. 107:17-22。

***主は医者として来て務めをし、いやし、回復し、生かし、救って、わたしたちを再構成し、新しい天的市民とします**

C. しかしながら、彼は医者として来て務めをし、わたしたちをいやし、回復し、生かし、救って、わたしたちが再構成されて彼の新しい天的市民となるようにしました。彼はわたしたちをもって、この腐敗した地に彼の天的王国を堅く立てることができます。

***主が来たのは罪人を招くためであり、**

D. 「義人はいない、一人もない」(ローマ 3:10)。すべての「義人」は、パリサイ人のように自らを義とします(ルカ 18:9)。王なる救い主が来たのは、これらの者を招くためではなく、罪人を招くためです。

***わたしたちを霊と魂の中でいやし、霊的な病をいやされます。**

E. 主はわたしたちの医者として、おもにわたしたちの霊と魂の中でわたしたちをいやし、わたしたちの霊的な病をいやします。取税人や罪人は、肉体的に病んでいたのではなく、霊的に病んでいました——マタイ 9:10, 13. 箴 4:20-23。

***わたしたちは、いやす力を経験します**

——十字架につけられた生活をするとき、十字架を経験し、いやす力を経験します。

F. わたしたちが十字架につけられたキリストを経験し、十字架につけられた生活をするとき、復活したキリストはわたしたちのいやす力となり、主はわたしたちのいやし主となります——出 15:22-27。

花婿としてのキリストは、(従う者をいやし、花婿の付き添いとし、最終的に花嫁とします)

IV. キリストはわたしたちの花婿です——マタイ 9:14-15 :

***主は人を喜ばす人です。従う者をいやし、花婿の付き添いとし、そして花嫁とします。**

A. 医者も花婿も喜ばしい人です(人を喜ばせる人です)。王なる救い主はまず彼に従う者たちをいやし、次に彼らを花婿の付き添いの友にしました。最終的に、彼は彼らを彼の花嫁とします。

***主の臨在の中で生きる必要があります。**

B. わたしたちは、わたしたちの命が回復されるために、医者としてのキリストを捕らえる必要があるだけでなく、わたしたちが彼の臨在の中で生きることを享受するために、花婿としてのキリストも捕らえる必要があります——ピリピ 3:12-13。

***わたしたちを美しくされ、花嫁とされます。**

C. その霊は御父によって使いとして遣わされました。それはキリストの豊富をもってわたしたちを美しくし、キリストの花嫁とならせるためです——創第 24 章. エペソ 5:25-27。

キリストは縮ませていない布切れ、また新しい衣服です

Unfulled cloth, new garment,

V. キリストは縮ませていない布切れ、またわたしたちの新しい衣服です——マタイ 9:16. ルカ 5:36:

***「縮ませていない」の意味——処理されていない、加工されていない**

A. 「縮ませていない」という言葉は、「とかしていない、蒸気をあてずさらされていない、処理されていない、加工されていない」を意味します。

***縮ませていない布切れ:(肉体と成ることから十字架までのキリストを表徴する)**

***新しい衣:(十字架で処理された後の新しい衣服としてのキリストを表徴する)**

B. 縮ませていない布切れは、未処理の、未加工の、新しい布切れとしての、肉体と成ることから十字架までのキリストを表徴します。ルカ第 5 章 36 節の新しい衣は、キリストが十字架において「処理」された後の新しい衣服としてのキリストを表徴します。

***縮ませていない布切れは、死と復活を通して新しい衣となります。**

C. キリストはまず、新しい衣を仕立てるための縮ませていない布切れでした。次に彼の死と復活を通して、彼は神の御前でわたしたちの義として、わたしたちを覆う新しい衣に仕立てられました。それは、わたしたちが神によって義とされ、神に受け入れられるためです——ルカ 15:22. ガラテヤ 3:27. I コリント 1:30. 詩 45:13-14. 啓 19:8. エレミヤ 2:32.

***縮ませていない布切れを古い衣に継ぎ当て引き裂くことは、人々がキリストが地上で人の生活において行なったことを模倣しようとするのであり、**

D. 縮ませていない布切れを古い衣に継ぎ当てすると、その収縮する力で衣を引き裂くので、その破れをさらにひどくします。縮ませていない布切れを古い衣に継ぎ当てすることが意味するのは、人々が十字架につけられたイエスを彼らの贖い主として信じないで、あるいは復活したキリストを彼らの義として信じないで、彼らが神によって義とされ神に受け入れられようとして、キリストが地上で人の生活において行なったことを模倣しようとすることです。

***天然の命による振る舞いである古い衣を引き裂きさくことです。**

E. 彼らがキリストの人の生活を模倣することは、彼らの「古い衣」、すなわち、古い天然の命によって生み出される彼らの振る舞いを「引き裂き」ます。

***王国の民は、新しい衣としての復活したキリストを受け取ります。**

F. 王国の民は、このようなことはしません。彼らは十字架につけられ復活したキリストを、神の御前の義として彼らを覆う彼らの新しい衣とします。

キリストはわたしたちの新しいぶどう酒であり、新鮮な皮袋に入れられる必要があります

New wine, fresh wineskin

VI. キリストはわたしたちの新しいぶどう酒であり、——マタイ 9:17 :

***「新しい」は時間において新しいを意味します。(新しいぶどう酒)**

A. 「新しい」のギリシャ語は、「時間において新しい」、「最近の」、「新しく所有された」を意味します :

1. 新しいぶどう酒は、活気づける力をもってわたしたちを強め、力づけ、とても幸いにする、新しい、活気づける命としてのキリストを表徴します——士 9:12-13.
2. すべての宗教は古い皮袋です。古い皮袋に入れられた新しいぶどう酒は、その発酵力によって、皮袋を張り裂いてしまいます。新しいぶどう酒を古い皮袋に入れることは、わき立たせる命としてのキリストを、あらゆる種類の宗教の中に押し込めることです——マタイ 9:14-15.
3. 宗教的になるとは、その霊としてのキリストから離れて、彼なしに、神を礼拝し、神に仕え、事を行なって神を喜ばせようとすることです——参照、ガラテヤ 1:14-16 前半。

***性質において新しいこと意味します(新鮮な皮袋—諸地方召会)**

B. 「新鮮な」のギリシャ語は、「性質、品質、様式において新しい」、「使っていない」、「未使用である」を意味します :

1. 新鮮な皮袋は、新しいぶどう酒の容器としての諸地方召会の召会生活を表徴します。その新しいぶどう酒は、わき立たせる命であるキリストご自身です。
2. 個人のキリストは新しいぶどう酒であり、内側でわき立たせる命です。団体のキリストは新鮮な皮袋であり、新しいぶどう酒を保つ外側の容器です。団体のキリスト、召会は新しい皮袋であり、ぶどう酒としての個人のキリストを入れます :
 - a. キリストの拡大としての召会は、キリストで満たされており、キリストで構成されています。
 - b. 共に構成された肢体たちは一つからだであり、このからはキリストです。キリストはからだのかしらであり、かしらのからだです——I コリント 12:12. 使徒 9:5.
 - c. キリストは分けられません。あなたの中のキリストは、わたしの中のキリストと一であり、わたしたちの中のキリストは、他のすべてのクリスチャンの中のキリストと一です——I コリント 1:10, 13 前半。
 - d. ですから、キリストは、彼で満たされた多くの肢体から成るからだです。これが新しい皮袋であり、新しいぶどう酒としてのキリストを入れる召会生活です。

3. 召会の人々の間で、新しい衣、新しいぶどう酒、新しい皮袋は、すべて回復されています。わたしたちは団体的にわたしたちの召会生活としてのキリストを持っています。召会、皮袋は神の究極の目標です。

今日の四種類のクリスチャン (マタイのライフスタディより)	
近代主義者 (縮ませていない布)	彼らはクリスチャンと呼ばれますが、真にクリスチャンではありません。近代主義者は、主の人の生活のまだ縮ませていない布切れを取って、それを使って彼らの振る舞いの穴に継ぎ当てをします。近代主義者はキリストが彼らの罪のために十字架で死なれたことを信じませんし、キリストが神であることを信じませんし、主の復活を信じません。彼らはただイエスの人の生活に倣うべきであると信じるだけです。
根本主義者 (新しい衣)	彼らはキリストは神であること、キリストは彼らの贖い主であること、キリストは彼らの罪のために十字架上で死なれたこと、彼は復活させられたことを信じます。根本主義者たちは復活したキリストを彼らの義として受け入れ、信じました。しかしながら、彼らは内側の命、内側のぶどう酒のことをほとんど知りません。彼らは外側の衣としてキリストを着ましたが、内側のぶどう酒としてのキリストを飲みません。
内なる命(派) (新しいぶどう酒)	彼らはキリストを新しい衣として着るだけでなく、彼らの内側の命としての彼を知っています。事実、彼らは内なる命に大きな強調点を置きます。内なる命のクリスチャンは、前の二つのグループ以上の進歩です。しかしながら、彼らはとても良いのですが、一つの事に欠けています。彼らは皮袋、召会生活に欠けています。
召会の人たち (新鮮な皮袋)	召会の人たちの間で、新しい衣、新しいぶどう酒、新鮮な皮袋がすべて回復されました。わたしたちはキリストを、召会生活として団体的方法で持っています。召会、この新しい皮袋は神の究極的目標です。

まとめ

彼は医者であり、わたしたちは彼のあわれみといやしを享受します。

彼は花婿であり、わたしたちは彼の臨在を享受します。

彼は新しい衣であり、わたしたちを彼にふさわしいものに資格づけます。

彼は新しいぶどう酒であり、わたしたちの満足となります。

彼は新鮮な皮袋であり、わたしたちの彼に対する享受を入れます。

キリストのいやしを 経験し享受し、	キリストの王国の民を	表現する
キリストを花婿として経験し享受し、	キリストの花嫁の新しい衣を	表現する
キリストを命として 経験し享受し、	キリストを召会生活において	表現する